

透析支援システム・フューチャーネットⅡ導入の 評価と看護の検討

前田 雅美¹⁾, 道中 千鶴¹⁾, 松岡 淳子¹⁾, 大野呂和栄¹⁾,
小野みね子¹⁾, 小井 正美¹⁾, 秦 佳子¹⁾, 村上和華子²⁾,
岩谷 欣吾²⁾, 中山 賢治²⁾, 守谷 和正²⁾, 宮崎 雅史³⁾

腎不全センター幸町記念病院 看護部¹⁾, 技術部²⁾, 外科³⁾

キーワード: QOL, フットケア, 透析支援システム

I はじめに

当院では透析支援システム・フューチャーネットⅡを導入し、従来のDr. ヘモディアルターと併用して透析治療を行っている。

今回、システム導入が透析治療の安全性の向上や業務の効率化にどのように反映したかを検討し、看護内容の見直しを行ったので報告する。

当院のフューチャーネットⅡシステムを簡単に紹介する(図1.)。体重計、サーバー・コンピューター、クライアント・パソコン6台、プリンター、コンソール80台で構成されており、主に、患者情報の管理や除水計算、透析記録の自動化を行っている。

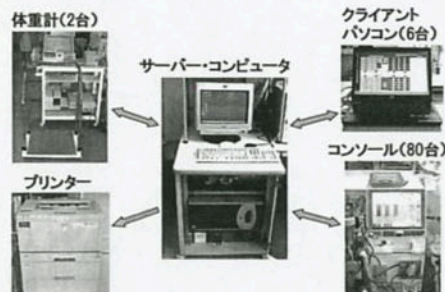


図1. 当院のフューチャーネットⅡシステム構成

II 目的

1. 透析治療の安全確保
2. 業務の合理化・省力化
3. 患者のQOL向上

III 方法

1. インシデントレポート集計の比較
2. 透析開始時刻の予定と実際のずれの算出
3. スタッフへのアンケート調査

IV 期間

1. システム導入前 (旧施設) 04/5/1~04/10/31
2. システム導入前 (新施設) 04/12/1~05/5/31
3. システム導入後 (新施設) 06/3/1~06/8/31

移転前と移転後のシステム導入前後それぞれ6ヶ月間とした。

V 結果

1. 各期間におけるインシデント数 (表1.)

フューチャーネット導入前後で総透析回数は12891回から14316回へと11%増加したが、除水・IP関連のインシデント数は32回から21回へと34%減少した。各期間のインシデント数を総透析回数で割ったインシデント発生率は、導入前後で0.25%から0.15%と減少した。

2. 透析開始予定時刻からの平均遅れ時間と平均遅れ回数 (表2.)

フューチャーネット導入後は、平均遅れ時間は4.4±4.0分から2.0±1.5分に短縮し、平均遅れ回数も月3.6±1.6回から2.6±1.7回と減少した。

3. スタッフへのアンケート結果 (表3.)

80~90%の人が記録時間が短縮した、処置が迅速化した、除水計算ミスや透析時間の間違いが減少したと答えた。一方、コンソール画面上で透析中の状況把握は容易かの問いに対して「はい」と答えたのは3%にとどまった。しかし、総合的には以前より安全になったと63%の人から回答が得られた。

なお、現在はシステムのバージョンアップによりコンソール画面上で透析中の状況把握が容易になっている。

表1.各期間におけるインシデント数

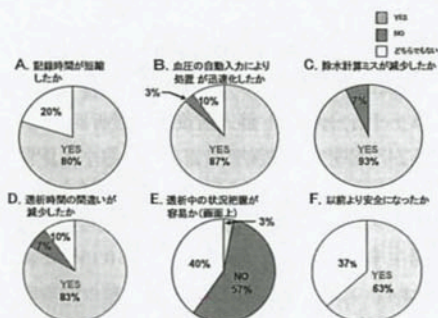
| | スタッフ数 | ベッド数 | 平均患者数 | 搬送回数 | インシデント数 (脱水、伊藤運) | インシデント発生率(%) |
|-----|-------|------|-------|--------|---------------------|--------------|
| 旧施設 | 30 | 66 | 169 | 12,795 | 41 | 0.32 |
| 導入前 | 32 | 80 | 173 | 12,891 | 32 | 0.25 |
| 導入後 | 32 | 80 | 187 | 14,316 | 21 | 0.15 |

表2. 透析開始時刻 (予定と実際のずれ)

| | 平均遅れ時間 (分) | 平均遅れ回数 (回) |
|-----|---------------|---------------|
| 旧施設 | 6.6 ± 4.7 | 7.0 ± 1.7 |
| 導入前 | 4.4 ± 4.0 | 3.6 ± 1.6 |
| 導入後 | 2.0 ± 1.5 | 2.6 ± 1.7 |

無作為に選択した患者30名を各1カ月(13回)で比較

表3.スタッフへのアンケート



VI 考 察

フューチャーネットⅡでの自動化により除水関連ミスが減少し、記録時間の短縮がはかれ、ミスの減少と時間的余裕により安全性が向上した。

VII 看護の検討

省力化で得られた時間の有効利用を検討し、看護内容を見直した。

フューチャーネットⅡ導入前は、フットケア・口腔ケアは十分に行えていなかったが、導入後は、フットケア・口腔ケアチームをつくり、図2のチェックシートを作成してケアを行なうことにした。^{1) 2)}

フットケアは糖尿病患者をリストアップし必要に応じて透析日に実施することにした。口腔ケアは、要介護の入院患者から取り組み、さらに外来患者の昼食後の菌磨きに着手した。

足病変のチェックリストとフットケアシート

口腔ケア評価シート

図2. チェックシート

VIII ま と め

フューチャーネットⅡの導入により、透析治療の安全性が向上し、業務の合理化・省力化ができた。

また、フットケアや口腔ケアなど患者の個性にも配慮したケアに取りかかることで足病変の早期発見や感染の予防ができ、患者のQOL向上が期待できると思われた。

IX 参 考 文 献

- 1) 羽倉稜子：ナースがおこなう糖尿病フットケア南江堂 2006年
- 2) 岸本裕充：ナースのための口腔ケア実践テクニック照林社 2002年